

第 75 回大腸癌研究会・家族性大腸癌委員会報告

1. 委員会等の開催

大腸癌研究会時の委員会開催

4月16日駒込病院において、小委員会開催

持ち回りにて遺伝性大腸癌診療ガイドラインについて、討論修正などを行った。

2. 討論ないし決定事項等

1) 遺伝性大腸癌診療ガイドラインの概要が纏まったため、(案)として大腸癌研究会ガイド来院委員会に上申した。

2) ガイドライン委員会から貴重なアドバイスないしご意見を頂いたので、それについて熱心な討論が行われた：主なものは(1)最近国際的に「HNPCC」ないし「リンチ症候群について」名称の移行ないし変更が行われつつある。それについて分かり易く概説し、本ガイドラインの扱う範囲を何らかの形で明らかにする。(2)記載をさらに明確かつ分かり易くすべき点がある。を確認し、(3)2011年8月までに、とりまとめの委員で改良(案)として確定する。

が決定した。

3) FAP について難病指定の希望が患者会(日本に2つ、それが纏まって提出予定)から出るので、社会貢献の一環として、次回に文案を検討して承認されれば、会長に具申する、ことが決定した。

4) HNPCC プロジェクト結果について、再度の報告を頂き検討した結果、これを基にして更なる調査を行うことは困難という意見がでたが、重要な事項なので今後とも検討することとなった。

5) 次回からの研究ないし検討課題について幾つかの提案を頂いた。

4) 資料なし

以上